

# 応援します！ 市民活動

☎くらしいきいき課市民応援係  
☎ 63-1395

※分からないことや詳しいことは、☎にお問い合わせください。

## 9月は「老人敬愛の月」 長寿と健康をお祝いしましょう

☎福祉課総務係  
☎ 63-1406

9月16日(月・祝)は「敬老の日」です。長年にわたり社会に尽くしてこられた老人を敬愛し、長寿と健康をお祝いしましょう。敬老の日を中心に、荒尾市でも老人福祉週間行事(敬老行事)を次の通り、行います。

### 【敬老大会】

9月14日(土) 荒尾市老人クラブ連合と共催で、午前9時30分から文化センター大ホールにて、米寿の人に記念品を贈呈します。アトラクションとして保育園児の遊戯、老人クラブ会員による地区選抜演芸大会、福引などを計画しています。多くの人のご来場をお待ちしております。入場無料。

### 【長寿者訪問】

本年度中に100歳を迎えられる高齢者に対し、内閣総理大臣から祝状の贈呈、誕生月には市長が表敬訪問し、お祝いの品を贈呈します。また、本市の最高齢者(105歳)にもお祝い品を贈呈します。

### 【潮湯の無料開放(60歳以上の人)】

9月17日(火)～21日(土) 午前9時30分～午後4時の期間中(日、祝日は休館)は、「潮湯使用証」を提示すると無料で入館できます。「潮湯使用証」をお持ちでない人は、荒尾市潮湯(☎62-1610)にお問い合わせください。

### 【金婚夫婦表彰】

9月26日(木) 熊本日日新聞社と共催で、午前10時から文化センター小ホールにて、結婚50年を迎えられたご夫婦(申込者)を表彰し、記念品を贈呈します。

## 荒尾市市民活動補償制度

地域社会活動など市民活動を安心して行えるように、万が一の事故やけがが発生した場合に備えて「市民活動補償制度」が活用できます。

### ●保険の主な内容

- ①市民活動の指導者・スタッフ・参加者が、ケガをした場合
- ②指導者・スタッフなどが、市民活動中に他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことで法律上の賠償責任を負う場合

※活動に伴う熱中症や食中毒も対象になります。

### ●対象者

営利を目的としない市内の5人以上の団体(地区協議会、元気づくり委員会、自治会・町内会、市民活動団体など)

### ●対象となる活動

市民活動団体が行う公益性のある活動。ケガの原因となっ

た活動内容で保険が適用できるかどうか判断します。

[例] 地域社会活動(除草活動や見守り活動、地域活性化のための活動など) / 地域福祉活動(高齢者や障がい者への援護活動など) / 青少年育成活動(P.T.A.が主催する活動) / 外の子どもの指導育成活動など / 社会教育活動(スポーツ・レクリエーション大会、文化活動など)

### ●対象にならない活動

市や学校管理下での活動、親睦が目的のレクリエーション活動、趣味を目的とするサークルの活動など

●加入手続 市が加入して保険料を支払いますので、事前の加入や登録の手続きは不要です。

※事故発生後30日以内に必要書類などをくらしいきいき課へ提出してください。

## 花のまちづくり推進事業

公園や街路などの公共的な場所へ花壇などを設置し、不特定多数の人が観賞できる場所に花を植え、育成・管理までを行う活動に必要な花苗の一部を配布します。

●応募資格 営利を目的としない市内の5人以上の団体

### ●応募方法

9月17日(火)～30日(月)までに、申請書に記入し、くらしいきいき課へ提出してください。

※申請書はくらしいきいき課か市ホームページから入手できます。

### ●選定方法

現地確認後審査し、事業の選定と配布本数の決定を行います。

### ●配布する花苗の種類・本数

パンジー、ノースポール、ストック、金魚草など1万本

●配布方法 決定した団体に対して11月上旬以降に配布します。

●注意事項 植えた後、必ず実績報告書と現地写真(植える直前(更地の状態)、作業中、植えた後)を提出してください。(データ可)



## いきいき人づくり事業

社会の各分野で指導的役割を果たす創造性豊かな人材を育成し、地域の活性化につなげるため、人材育成などの事業に対して助成を行います。

### ●応募資格

市内に住んでいる人や市内の事業所などに勤務している人

### ●応募期間

9月2日(月)～30日(月)

### ●対象事業

平成25年9月～平成26年3月の間に行う事業

- ①視察研修などへの参加
- ②講演会・イベントなどの開催
- ③青少年の健全育成、世代間・地域間交流、環境の保全などに関する事業
- ④地域産業の振興、女性の地位向上などに関する事業

●審査方法 「いきいき人づくり事業審査会」で審査し、事業の選定と額の決定を行います。

※助成金額や応募方法はくらしいきいき課にお問い合わせください。



## 市民活動サポート助成事業

市民と行政の協働のまちづくりを目指し、市民の自発的な社会貢献活動の活性化や活動団体の自立を支援します。

●応募資格 営利を目的としない市内の5人以上の団体

●応募期間 年間を通していつでも

●応募方法 申請書に記入し、団体構成員名簿や会則などを添えてくらしいきいき課に提出してください。

※申請書はくらしいきいき課か市ホームページから入手できます。

### ●対象事業 次の要件を満たす事業

- ①平成25年4月～平成26年3月までに取り組む事業
- ②ボランティア団体などが自発的な意思に基づいて取り組む市民活動
- ③組織の活性化と自立を目指して取り組む事業
- ④他に助成を受けていない事業

●審査方法 審査会の審査で、助成する事業と助成額の決定を行います。

[助成額など(3年を限度。毎年要申請)]

	1年目	2年目	3年目
限度額	20万円	20万円	20万円
助成率	9割	7割	5割



万田坑の世界遺産登録を目指して!

## 荒尾の宝もんから世界の宝もん

☎生涯学習課世界遺産推進室  
☎ 63-1681

### 最終回 皆さんからの質問に答えます!

いよいよ今月号をもって「荒尾の宝もんから世界の宝もん」は最終回となります。今回は世界遺産や万田坑について皆さんからいただいた質問に回答します。

【Q1】どれくらいの方が万田坑で働いていましたか?

【A1】最盛期には3交代制で3,500人ほどが働いていました。当時、万田坑周辺には多くの炭鉱住宅が建ち並び、ひとつの炭鉱都市が形成されていました。

【Q2】万田坑は日本の石炭産業の近代化に貢献したといわれていますが、日本全体に対しどれくらいの役割を果たしたのですか?

【A2】国内の出炭量が年間5,630万トンとピークを迎えた昭和15年に、万田坑の出炭量が年間113万トンを記録しました。三池炭鉱全体としては国内生産の1割ほどを担っていました。

【Q3】日本で世界遺産に登録されているものはいくつありますか?

【A3】世界全体では981件(平成25年の第37回世界遺産委員会終了時点)登録されていて、日本では富士山を含め、17件登録されています。なお、『日本の近代化産業遺産群-九州・山口及び関連地域』も入っている世界遺産国内暫定リストには13件が選ばれており、それぞれ本登録の準備を行っています。

【Q4】世界遺産に登録された所はどれくらい観光客が増えますか?

【A4】平成19年に世界遺産登録された「石見銀山」(島根県)では、登録前は年間40万人ほどだった入場者数が登録初年度に71万人ほどに増えました。また、平成23年に「山本作兵衛コレクション」が世界記憶遺産に登録された「田川市石炭・歴史博物館」(福岡県)では、登録前は年間約2万人だった入場者数が登録初年度に15万人に増えたことから、世界遺産に登録されることで観光客数が増加すると予想されます。なお、現在の万田坑の年間入場者数は2万人ほどです。

### ～最後に～

昨年10月から連載を始めて1年が経ち、今回で最終回を迎えますが、今後も進捗状況などの情報提供を随時行っていきます。万田坑が「世界の宝もん」になるようこれからも頑張っていきますので、みなさんの応援をよろしくお願いします。 世界遺産推進室一同